
すべらない小説 02 (友達の家で・・・)

ミジンコ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

すべらない小説 02 (友達の家で・・・)

【著者名】

ミジンコ

【あらすじ】

一気に読めるすべらない小説。経験と実績が産んだ奇跡のエピソード！！1分で読みきれる疾走感と読みやすさが魅力！！

高校の夏休み、遠い場所に住む友達の家に遊びに行った。家に上がり
ると、友達のお母さんが出てきて笑顔で俺に向かって言つてきた・・・

「あ～らあ～久しぶりねえ～！～雅夫^{まやお}なら上にいるから、かつてに
上がつていいわよお～！～」

そう言われて断る理由も無く、階段を上りその友達が居る部屋のドアの前まで進んで行つた。久しぶりに会う友達なので、微妙な気まずさがうまれてしまつ可能性もある。それが嫌な俺は、そんな雰囲気を壊すように勢いよくドアを開け、元気に挨拶をした。

「よお～！～ひつやしふり～！～げ～んきだつたかなあ～！～
！～」

すると、久しぶりに会う友達が口元に指一本を合わせながら自分に近づいてきた・・・

「し～～！～～し～～！～静かに！～静かにして・・・」

なぜかしきりに静かにするように自分に訴える。

(えつ～？？？・・・・・いつたいぢりしたのだぢり～？？いつたい
何が起つたのだろうか！？)

不思議に思つた自分は、よ～とその友達に近づき小声でゆつくり
その質問をして見た。

「いつたいどーしたの? なにがあつたの? . . . 」

その質問を聞き、すぐにその友達が自分に顔を近づけて更に小さい声で答えを返してくれた。

「こまあ……。ウロを……。メロに録音してこねといひだ
からあ。・。・。・。」

声入んねえ！からさあああ！！！！

何時代の人間なのよおおお！あんたはああー！

と思ったがそうとも言えず、気まずい静かな部屋でその曲が終わるのを待ち続けるしかできなかつた。

「そこ！…そこ！…・・・・・ その床、ギイ～つて鳴るから踏まないで絶対！！」

いやだから音は入んないつて！！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3188f/>

すべらない小説 02（友達の家で・・・）

2010年10月20日13時20分発行